

2015年

アースアワー
Earth Hour



今回は、「アースアワー」について、ご紹介します。

「アースアワー」は、環境保護団体 WWF（2 ページ後半参照）が世界中の参加国で同時に開催する一地域の照明を消し、電気の使用量を減らすことによって、「地球温暖化防止に貢献し、かつ世界に環境保護をアピールしよう」というものです。

この「アースアワー」は、2004年に WWF オーストラリアのメンバーが深刻化する地球温暖化を阻止しようとしたのがきっかけで、第 1 回は 2007年3月31日にシドニーで行われました。

回を重ねると共に、世界から注目されるようになり、今年の「アースアワー」では、史上最高となる、172カ国が参加したそうです。

私は、平成 27年3月28日みなとみらいで開かれた「第九回アースアワー」取材しました。環境保全のデモンストレーションとして、下の写真のように、ペダルをこぐと発電機が作動し、ツリーにかけられたライトが発光する設備が設置されていました。実際に私も漕いでみました。LEDが使われていたので、軽く漕いでも発光しました。時間が経つに連れて、発電機の前には、沢山の行列ができており、関心の高さを実感しました。また、会場のテントでは、太陽光で発電された光を使っており、環境を重視した設備が施されていた。



答え：C



8時から30分のオープニングイベントの後、1時間のメインイベントが行われました。みなとみらいの遊園地とその周辺の照明が開始と共に消されました。そして、1分間の東日本大震災の黙祷が行われました。これは震災後から毎年行われているそうです。

この消灯は安全上のため、大観覧車などは、1時間も消灯はしていたわけではありませんでしたが、この「アースアワー」は、環境保護に興味を持つきっかけになりました。

ちなみに、他のイベント会場(ホテルなど)では、アースアワー開始と同時に電気の代わりにろうそくをつけて参加しているところもあります。興味のある人は、ぜひ参加してみてください。



↑ろうそく点火の写真↑

【写真提供：ヒルトン福岡シーホーク】

WWF とは



1961年にできた地球環境の保全に取り組む民間の団体。約100カ国で活動している。同団体は3つの使命と7つの行動原則を掲げている。日本では、WWF ジャパンが日本支部として活動している。

<3つの使命>

1. 生物多様性を守る
2. 再生可能な自然資源の持続可能な利用が確実に行なわれるようにする
3. 環境汚染と浪費的な消費の削減を進める

<7つの行動原則>

1. 地球規模で活動する独立した団体であり、多文化を尊重し、特定の政党に組みしない
2. 問題に取り組むに当たっては、入手し得る最高の科学的情報を用い、自身の取り組み評価を厳しく行なう
3. 不必要な対立を避け、対話を追求する
4. フィールドプログラム・政策提言活動・能力開発・教育環境を組み合わせ、具体的な問題解決策を組み立てる
5. 地域住民と先住民の文化的・経済的なニーズを尊重し、フィールドプログラムの立案と実施への参画を得る
6. 他の団体・政府・企業・地域社会とパートナーシップ構築に努め WWF の有効性を向上させる
7. その運営に当たっては、費用対効果を考慮し、最も厳しい説明責任基準に則って、寄付金を活用する

メールマガジンに登録したり、会員になって寄付したりすると、
「自然保護活動の最前線をお知らせ！『PANDA 通信』」が配信されます。
メールマガジン内容は、

- ✚ WWF ジャパンの環境保全活動のご紹介
- ✚ スタッフからの現場レポート
- ✚ 海外での WWF の活動やトピックスの紹介
- ✚ キャンペーンなどのお知らせ
- ✚ イベント情報
- ✚ 海外の WWF から届いたトピックスのご紹介

興味のある方はしてみてください。

メール登録のページ：[メールマガジンのご案内 | WWF ジャパン](#)

～おまけ～~~~~~

Earth Hour のパンフレットに書いてあった問題を引用しました。是非、解いてみてください。

Question	
世界中の人々が、現在の日本人の平均的な消費生活をはじめたら、地球何個分の資源が必要になるでしょう？	
A: 0.8 個 B: 1.4 個 C: 2.3 個	答えはこの記事面のどこかに隠れています。 探してみよう！

〈参考文献〉

- ✚ WWF ジャパン ホームページ
- ✚ WWF ジャパン アースアワー パンフレット

文責：市川 詩恩